

地域経済動向調査 事業者数及びその業態分布状況編

浅口市・里庄町の事業所数とその業種分類状況

- ・【浅口市・里庄町共に製造業の割合が他地区に比べて高い】
- ・【ただし事業所数としては減少推移が続く】

管内地域の事業所数を平成26年岡山県統計年報でみると、浅口市は1,102件、里庄町は371件の合計1,473件となり、これは岡山県全体88,332件のうち1.7%である。図表3-1は管内地域の事業所数を業種別にみたものとなるが、管内地域全体で最も割合が高い業種は卸売業・小売業（26.4%、389件）で、次いで製造業（12.8%、189件）、生活関連サービス業・娯楽業（10.0%、147件）と続いている。市郡内訳については、浅口市では最も高い割合にあるのは卸売業・小売業（27.3%、301件）で、次いで製造業（12.7%、140件）、生活関連サービス業・娯楽業（10.5%、116件）等、里庄町では卸売業・小売業（23.7%、88件）で、製造業（13.2%、49件）の次は宿泊業・飲食サービス業と医療・福祉がともに9.7%（それぞれ78件、77件）となっている。尚、事業所構成比に関して、岡山県全体で最も割合が高い業種は卸売業・小売業（25.0%）であり、次いで生活関連サービス業、娯楽業（10.2%）、建設業（9.4%）と続いているが、管内地域と順位に若干の差はあるものの構成比にはあまり大きな差異はない。

ただ管内地域の特徴を捉えてみると、卸売業・小売業に関しては他の自治体同様に全体の約1/4となるものの、前号で分析した「市町村内総生産」の大部分を占めた製造業は事業所構成に於いても12.8%と上位にあり、岡山県全体における同業種の割合8.2%よりも高い。この点をもても管内地域は製造業主体といった印象が窺える。尚、浅口市においてはクリーニング業者や葬祭業者、またパチンコ店等が市場規模に比して多く見受けられることなどから「生活関連サービス業・娯楽業」の割合が他のエリアより高くなっており、里庄町では医療福祉施設の充実が業種別で「医療・福祉」を同率3位に押し上げる結果となる模様。一方で建設業は県全体の9.4%に比較して浅口市8.4%、里庄町6.7%（管内地域8.0%）と低くなっているのも特徴といえる。

倉敷市、笠岡市、矢掛町の近隣自治体も概ね似たような構成比となっているが、倉敷市は建設業者が10.1%（管内地域8.0%、岡山県9.4%）と高く、製造業に関しては8.8%となり管内地域の12.8%より低い。笠岡市は医療・福祉が8.7%と高く、建設業者は8.2%と低い。矢掛町は製造業が15.6%となり近隣と比較して高い反面、宿泊業・飲食サービス業4.8%が低いのが特徴となる。

全体的な傾向をみてみると倉敷市のように市場規模の大きい地域はあらゆる業種が数多く所在するため県全体の構成に近くなるが、小さくなると、管内地域や矢掛町の製造業、笠岡市の医療・福祉等のように特色が目立つようになっている。

推移と問題点

管内地域の事業所数の平成21年以降の推移を岡山県統計年報でみると、管内地域全体では平成21年の1,631件（浅口市1,222件、里庄町409件）に対し平成26年は1,473件（浅口市1,102件、里庄町371件）と158件減少している（図表3-2）。遡ると平成8年が1891件、平成13年が1750件であったことか

らも減少推移を辿っていることが分かる（浅口市は合併前の3町比較）。

業種毎の平成21年と平成26年の比較では、浅口市は卸売業・小売業が73件減少（374件⇒301件）、建設業が25件減少（118件⇒93件）、宿泊業・飲食サービス業は20件減少（98件⇒78件）、生活関連サービス業が14件減少（130件⇒116件）、製造業は横這い、医療・福祉事業所が13件増加（78件⇒91件）しており全業種では120件の減少となった。里庄町では卸売業・小売業が18件減少（106件⇒88件）、建設業が10件減少（35件⇒25件）、製造業は5件減少（54件⇒49件）、生活関連サービス業が5件減少（36件⇒31件）、医療・福祉事業所が6件増加（30件⇒36件）、全業種では38件の減少である。

景気後退や後継者難による廃業、就労人口の減少、大手企業の事業所統廃合等景に全国の市町村で事業所数減少が続き、全体数もそのまま少なくなっている。管内地域も同様である。また浅口市・里庄町いずれもが医療・福祉事業所で増加がみられているが、介護施設や老健施設の需要の高まりからこのような事業所は管内地域以外でも増加しており、浅口市・里庄町に限られたことではない。むしろ管内地域の医療・福祉事業所割合（12.5%）は岡山県全体の14.7%、倉敷市の14.7%、笠岡市の18.0%と比較しても未だ低いものとなっている。前回、業績伸長する地場大手製造業などにより管内地域の市町村内総生産も増加していると述べたが、これに隠れて事業所数減少は続いている。事業所数の減少は雇用の減少にもつながるため、地域経済におけるプラスの要素を見出すのは困難といえる。

今後と対策

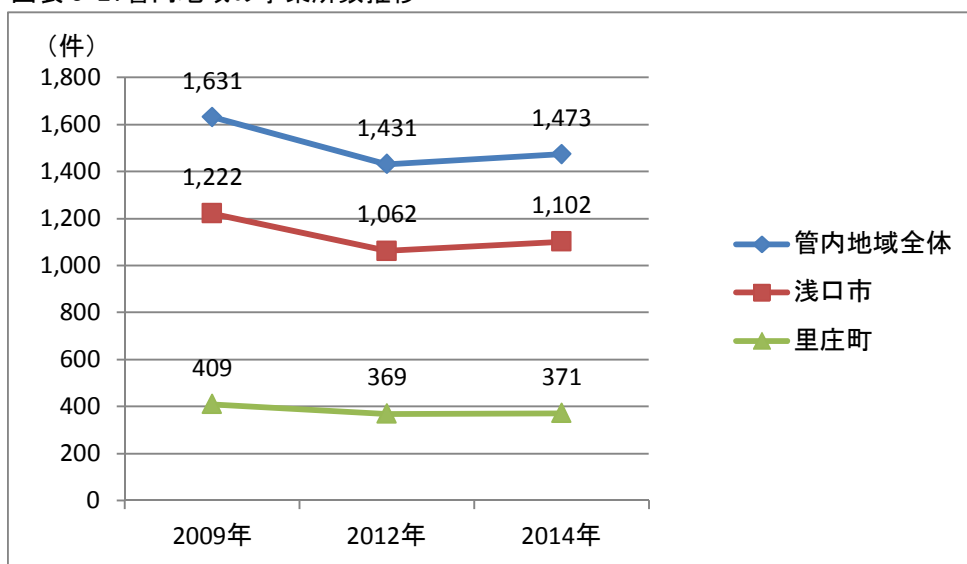
全国の市町村で事業所数が減少、管内地域も医療・介護事業所以外の分野で減少が続いている。これに対して、倉敷市では繊維製造業の中でも特に縫製業者の廃業等が続いていたことから自社ブランド品の立ち上げ支援等を行ったり、笠岡市では離島や干拓地等への企業誘致推進強化を実施、矢掛町では地元で自生する薬用作物の産地化や、空き家・空き店舗へのサテライトオフィス推進等も立ち上げている。上述したように管内地域の医療・福祉事業所の割合は県全体に比してやや低い。地域の高齢者数等の分析は必要ながらも、気候に恵まれた瀬戸内地域である点を強みとして同方面の事業所は増加させる余地はあるものとみられる。また倉敷市・岡山市と笠岡市・福山市をつなぐアクセスの良好さを活かした流通（卸売・小売業含む）拠点の開発や、製造業の強さをより高めるための外注工場の誘致も視野に入れた展開があっても良いかもしれない。

図表 3-1:管内地域と岡山県および近隣自治体の企業数

	件数(件)					割合(%)				
	管内地域全体	岡山県	倉敷市	笠岡市	矢掛町	管内地域全体	岡山県	倉敷市	笠岡市	矢掛町
農林漁業	2	514	32	17	7	0.1	0.6	0.2	0.8	1.0
鉱業、採石業、砂利採集業	0	36	3	4		0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
建設業	118	8,289	2,007	177	78	8.0	9.4	10.1	8.2	11.0
製造業	189	7,251	1,746	242	111	12.8	8.2	8.8	11.2	15.6
電気・ガス・熱供給・水道業	5	129	33	4	2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3
情報通信業	9	688	107	6	2	0.6	0.8	0.5	0.3	0.3
運輸業、郵便業	42	2,262	512	72	18	2.9	2.6	2.6	3.3	2.5
卸売業、小売業	389	22,039	4,989	544	192	26.4	25.0	25.1	25.2	27.0
金融業、保険業	21	1,389	299	29	6	1.4	1.6	1.5	1.3	0.8
不動産業、物品賃貸業	60	5,277	1,428	64	13	4.1	6.0	7.2	3.0	1.8
学術研究、専門・技術サービス業	24	3,081	634	58	11	1.6	3.5	3.2	2.7	1.5
宿泊業、飲食サービス業	114	8,993	2,175	209	34	7.7	10.2	10.9	9.7	4.8
生活関連サービス業、娯楽業	147	7,307	1,735	186	64	10.0	8.3	8.7	8.6	9.0
教育、学習支援業	84	3,560	731	126	43	5.7	4.0	3.7	5.8	6.0
医療、福祉	127	6,662	1,390	189	54	8.6	7.5	7.0	8.7	7.6
複合サービス事業	7	676	84	30	8	0.5	0.8	0.4	1.4	1.1
サービス業(他に分類されないもの)	101	6,076	1,197	148	45	6.9	6.9	6.0	6.8	6.3
公務(他に分類されるものを除く)	19	738	82	32	11	1.3	0.8	0.4	1.5	1.5
事業内容等不詳の事業所	15	3,365	731	26	12	1.0	3.8	3.7	1.2	1.7
合計	1,473	88,332	19,915	2,163	711	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【出典】岡山県統計年報 H26

図表 3-2:管内地域の事業所数推移



【出典】岡山県統計年報 H26